

令和3年度(2021年度)第2回

空知総合振興局管内幼児教育振興ネットワーク会議概要

空知教育局義務教育指導班 令和4年1月発行

令和3年(2021年)12月13日(月)、空知合同庁舎において、管内の各市町幼児教育施設担当及び小学校教育担当の皆様等に出席いただき、令和3年度(2021年度)第2回空知管内幼児教育振興ネットワーク会議を遠隔会議システム(Zoom)で開催しましたので、会議の概要についてお知らせします。

【概要】

本会議は、幼児教育振興基本方針の趣旨を踏まえ、保育者の資質・能力の向上や幼児教育施設と小学校等との連携・接続の一層の強化など、管内における幼児教育の課題の共有及び地域の実情に応じた効果的な取組の促進を目的としています。

はじめに、今年度6月に行われた第1回空知管内幼児教育振興ネットワーク会議を踏まえ、本会議までに取り組んだ内容について、4市町から御報告いただきました。

①岩見沢市教育委員会主査 中井一徳様【交流】

「私立幼稚園教諭と小学校教員の授業交流について」

- ・授業交流の際に、「幼児期の終わりまでに育つて欲しい姿」を配付し、保育参観の視点を明確化



②長沼町教育委員会小中一貫教育推進室長 石田巧様【スタートカリキュラム】

「年間を通した幼児教育施設との連携をもとにしたスタートカリキュラムの充実について」

- ・入学当初の時間割について、円滑な接続となるよう幼児教育施設保育者の意見を踏まえて作成

③歌志内市学校教育グループ主査 伊藤秀俊様【スタートカリキュラム】

「幼小の円滑な接続に向けたスタートカリキュラムの作成について」

- ・認定こども園の保育者の意見を踏まえ、月ごとの重点指導項目を基に、指導内容を整理

④滝川市教育委員会(書面)【合同引継ぎ会】

「小学校入学に係る合同引継ぎ会について」

- ・「引き継ぎ個人票」を用いて、市こども発達支援センター・健康づくり課等と情報共有



なお、実践報告いただいた4市町の取組状況については、「幼児教育の豊かな学びを小学校教育につなげるために～幼児教育と小学校教育の連携・接続ハンドブック～」に掲載予定となっております。

続いて、「幼小連携・接続の充実に向けて」と題して、拓殖大学北海道短期大学教授山田克己様に御講話をいただきました。山田教授からは、「幼児教育施設や学校において、小学校教員は、『幼児期の終わりまでに育つて欲しい姿』を意識し、幼児教育施設の保育者は、資質・能力を小学校の教科指導とつなげて保育に当たることの重要性」等についてお話しいただき、幼小連携・接続の重要性を改めて確認することができ、管内の幼小連携・接続のより一層の充実に向け、今後の取組の方向性を確認することができました。

【確認事項】

本会議のまとめでは、令和4年度「重点的に取り組む事項」について、「幼小連携」から「幼小接続」への転換をキーワードとし、提案させていただきました。

本会議の出席の有無に関わらず、皆様から提出いただいたアンケートにおける意見や要望などと併せ、令和4年度の第1回幼児教育振興ネットワーク会議で、改めて取組事項を周知させていただく予定です。

【令和4年度重点的に取り組む事項(案)】～幼小連携から幼小接続へ～

1. 幼児の発達や特性を理解する機会の設定
2. 保育参観など年間を通じて、効果的な引継ぎの機会の設定
3. スタートカリキュラムを幼児教育施設と小学校が合同で作成する場の設定
4. 幼保連携による子育て推進の体制づくり

幼児教育施設と小学校

との相互交流の促進

子育て支援

【出席者のアンケートから】

- ・幼稚園と地域の小学校との交流がないので、意見交換などを行う機会を設定していけたらと思う。
- ・スタートカリキュラムの事例、活用結果等について知りたい。
- ・各市町教育委員会等の具体的な取組内容について知りたい。
- ・小学校と幼児教育施設の合同研修の取組事例等があれば、今後の参考としたい。

